

美しい日本語との出会い

鹿児島県鹿児島市立西紫原中学校

波戸 三幸

新しい学期が始まり、生徒たちは新鮮な気持ちで授業に取り組みようとしている。そんな新学期の授業びらきは一年間の学習の見直しをもたせるための大切な時間である。学習の進め方や自己紹介、ノートの取り方など取り組みたいことはたくさんあるが、この時間で一番伝えたいことは、これから学んでいく言

葉のおもしろさである。日本語の奥深さを感じさせ、「国語の学習はおもしろい」「もっと勉強してみたい」という思いを抱かせたい。授業びらきの時間に行っている漢字クイズを紹介したい。

月の呼び名として弥生や皀月などの異名があることはよく知られている。しかし、その他にも多彩で美しい表現が日本語には存在する。一月から十二月までのそれぞれの異名は多いものでは、なんと五十以上もある。月の名前という親しみやすい題材であり、しかもその美しい呼び名にはそれぞれに意味がある。その異名を漢字クイズとして出題している。

漢字クイズ

それぞれ何月を指すことばでしょうか。

その理由も考えましょう。

理由

- ・愛逢月（ ）月（ ）
- ・風待月（ ）月（ ）
- ・夢見月（ ）月（ ）

他にも多彩で美しい表現が日本語には存在する。一月から十二月までのそれぞれの異名は多いものでは、なんと五十以上もある。月の名前という親しみやすい題材であり、しかもその美しい呼び名にはそれぞれに意味がある。その異名を漢字クイズとして出題している。

まず、個人でそれぞれが何月を意味する言葉であるかと

いうことと、その理由を考える。次に、グループでの初めての活動として話し合いを行う。例えば、「愛逢月」は「めであいつぎ」と言い、牽牛と織姫が出会う七月を指す言葉である。愛し合う者同士が出会うと言われる七夕にちなんだ美しい言葉である。生徒たちは、「バレンタインデーがあるので二月ではないか」という意見や「新しい人との出会いがある四月ではないか」という意見を述べながら、自分自身の考えをめぐらせ、言葉に対する見方を深めていくことになる。なお、「風待月」は涼しい風が吹いてほしいと感じる六月を、「夢見月」は夢見草とも呼ばれる桜が咲く三月を表す。

生徒たちはこれらの活動を通して、自分たちが学ぶ言葉のおもしろさに気づいていく。日本語の美しさを実感し、この一年間でより多くの言葉と出会いたいという意欲を抱かせる授業びらきにした。

はと みゆき 鹿児島市立西紫原中学校教諭。「生徒自身の言葉の世界を広げていく指導」について研究を続けている。